



# 11月の園だより

令和4年11月1日  
目黒区立不動保育園園長

不動小学校の校庭をお借りして10月に運動会を行いました。前日まで雨が降り、校庭で出来るか体育館になってしまいかと心配されましたが、無事に校庭で開催できケガも無く予定通り行う事が出来ました。子どもたちは慣れない場所に緊張している様子も見られましたが、それよりも保護者の皆様に観ていただけることが楽しみで、みんな笑顔で参加することが出来ていました。練習以上の力を発揮して頑張っている姿はとでも嬉しそうでした。後日、他のクラスとダンスを教えあう姿がありました。5歳児にあこがれる3,4歳児も縄跳びを跳ぶ等、心に残る運動会になったようです。保護者の方からも「子どもの成長した姿を見られた」「雨がやみ、広い校庭で開催できて良かった」等の声をいただきました。久しぶりにお客さんをたくさん呼べた運動会になり、子どもたちに応援を貰う事が出来楽しい一時を過ごす事が出来ました。子どもたちは一つ行事を乗り越えたことで自信を付け次の行事に又、取り組みます。一つひとつの経験が子どもたちの力になるように今後も進めていきたいと思ひます。マスクの着用や検温、手指の消毒など保護者の方々のご理解、ご協力、本当にありがとうございました。

春に向けて4,5歳児に「何かお花を植えたいの、何が良いかな」と相談すると、「チューリップ」と答えが返ってきました。そこでチューリップの球根を庭に植える事にしました。何色の花が咲くかまだ分かりませんが、一つ進級する春には色とりどりのチューリップの花で庭を飾ってくれることを楽しみに、子どもたちと見守っていきたく思ひます。

## 行事予定

焼き芋会 3.4.5歳児  
歯科検診 全園児

中旬 身体測定  
避難訓練



## 冬の子ども会のご案内

12月にクラス入れ替え制で、3.4.5歳児の表現発表会を行います。

お忙しい時期とは思いますが、保護者の皆様の参観をお待ちしています。開催方法など詳細につきましては、後日お知らせいたします。



## ～芋ほり遠足の様子～(4.5歳児)

埼玉県の農園に芋掘りに行ってきました。4.5歳児クラスで一緒に行けるのは3年ぶりでした。前日から朝まで、雨が降っていましたが、畑に近づくに連れて太陽も顔を出し遠足日和になりました。広い畑で「ここ掘っていい」と確認しながら少しずつ掘り進めていくと、大きい芋が見えて子どもたちは元気になり「つながっている芋が取れた、先生見て」と、大きい芋やツルに繋がっている兄弟芋を掘り当てては大喜びしていました。「もっと掘りたい」「家族でも来たいな」と芋ほりの楽しさにはまる子どもたちでした。4歳児は「来年も又来ようね」と言う声が上がリ、5歳児は「(来年も来るの)いいな～」とクラスで対照的な会話が聞かれました。「お芋は天ぷらにする」「お芋ごはん作ってもらう」と何の料理を作ってもらうかまで考えている子どもたち、翌日には「カリカリにして食べた」と満足そうに話してくれました。家族から「こんなに大きなお芋自分で掘れたの」と聞かれたり、「すごく頑張ったね」と褒められたりと嬉しそうに報告をしてくれた子どもたちでした。自分たちで掘ったお芋の味は格別だったことでしょう。持ち帰った芋はお日様に干し2歳～5歳児クラスで洗い焼き芋会や、園の給食で使用していきます。



## ～散歩の様子～(0歳児～3歳児)



### スラン組・0歳児

歩くことが出来る大きい子たちは保育士がベンチの溝に葉っぱを落としてみると、その様子を不思議そうに見に来ます。真似をして葉っぱを落としてはベンチの下に落ちた葉を拾い、又落とすを繰り返しています。溝より大きい葉は落ちないと、「あれ」と言いながらも何個もさし、生け花のように飾られていきます。

小さい子たちはシートから出て這い這いやずり這いで枝を見つけ、手に取ります。保育士も小枝を拾って「かきかき」と地面に絵を描いて見せると不思議そうに見ています。これからも一人ひとりの姿を見守り、戸外活動を十分に楽しめるようにしていきます。

### チューリップ組・1歳児

林試の森公園に子どもの顔位の大きなプラタナスの葉がたくさん落ちていました。保育士が葉に二つの小さな穴を開けて目を作り「オバケだよ～」と言うと、イメージがすぐに伝わったようで少し驚く表情もあり、ベンチの後ろに隠れる子もいました。保育士が「オバケだぞ～まで～」と追いかけると元気に逃げていきニコリ笑顔になりました。「オバケほしい」と言われ葉っぱを渡すと、今度は子どもたちがオバケになり保育士や友達に「オバケだよ～」と声をかけて楽しむ姿も見られました。これからも、保育士や友達と一緒に秋の自然に触れたり、たくさん体を動かしたりして遊んでいきたいと思っています。



### タンポポ組・2歳児

林試の森へ向かう道を友達と手を繋いで歩き、前にいる友達について歩いていきます。友達と会話が弾み、気がそれ列が乱れることもあります。そんな時は、保育士に「大丈夫、お友達の後ろ歩けてますか」と声をかけられると「はっ」として列に戻っていきます。歩きながら「なんだか(足元が)ふかふかするね」と落ち葉が増えたことに気がついた子や、「どんぐりがある」と木の実が落ちていることに気が付いた子もいました。「帽子がないのが欲しい」と言う子もいて、子どもたちは楽しそうに話をしながら探していました。秋の木の実に触れながら季節を感じ、四季の変化をこれからも感じていきたいと思っています。



### コスモス組・3歳児



林試の森公園に行くとかくれんぼが始まります。広場には木や看板があるので隠れる所はたくさんあります。保育士が隠れていると「来ちゃった」と保育士を追いかけて一緒に隠れようと子どもたちが集まってきます。狭い場所にみんなで隠れている為、鬼にはすぐに見つかってしまいます。見つかってしまうと今度は「逃げろ～」と鬼ごっこに変わり、鬼に捕まるまで逃げ回り、誰かが捕まると又かくれんぼから始まります。「見つかるから、シー」と皆で息をひそめて隠れますが、見つかる「きゃー」と言って大騒ぎで逃げていきます。「みつけた」「まで～」のやり取りも楽しく、まだまだ友達と一緒に走っているだけで楽しい子どもたちです。広い広場で体をたくさん動かしながら”皆で遊ぶ楽しさ”をたくさん経験していきたいと思っています。